

長期戦略:テーマ 「SDGs の推進」

提出日 2022年8月24日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学長 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	総合企画部
-----------------------	---------------	---------------	-------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
8-(12)-① SDGs に関する取組の発信(統括分野)	2019 年度	2024 年度	必要なし	帳票の要・不要を選択 してください
内容 本学の SDGs に関する取組を取りまとめて発信し、学院のブランディングに寄与する。 具体的には、ポータルサイトの開発・運用と、雑誌への広告出稿を行う。2022 年度はサステナブル・キャンパスとしての KSC の活動をより効果的にアピールするためのホームページの改修を行うほか、SDGs の取り組みを紹介する書籍等への広告出稿などを行う。 また、「SDG 大学プラットフォーム」「関西 SDGs プラットフォーム大学分科会」をはじめとしたプラットフォームに参加し、本学との取組の発信や情報収集を行う。また、「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学コアリション」に参画し、ゼロカーボン社会に向けた取り組みを推進する。加えて、SDGs に対する本学学生の関心を高め、学生の活発な取り組みを促すこと、学生や学生団体等の個別の SDGs の取り組みを融合・連携させることでソーシャルインパクトを高めること、他大学や自治体、企業などとも連携し、本学の活動や取り組みを学内外に展開すること、本学の取組の発信などを目的とし、SDGs 推進に向けて関心の高い学生を組織化しプラットフォームを形成する。学生プラットフォームは SDGs 推進本部と連携する学生組織として位置づけ、学生の活動内容の把握や支援、SDGs WEEK の開催等大学として総合的に活動を支援する。 なお、SDGs への積極的な取り組みが求められる昨今の社会状況の中、本学の SDGs の取り組みをいっそう促進するとともに、本学の教育・研究・学生の主体的な活動における情報を収集し戦略的に発信し本学のブランド価値を高めるため、また、「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学コアリション」等の新たな取組を推進するため、担当の副学長を定め、専任となる学長補佐を配置するとともに事務局体制も整備し、総合企画部に専任職員、契約職員各 1 名を配置する。(なお、契約職員については 8-(12)-②SDGs の推進(教育分野)で計上している職員を総合企画部に配置する。)				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	本学のイメージ(高校生、高校教員) ※8-(11)ブランド戦略と一部共通	1. リクルート社カレッジマネジメント「ブランドイメージ調査」の特定3項目(社会で役立つ力が身につく、国際的なセンスが身につく、先進的な)において関関同立でトップの項目数 2. 大学通信による、全国の進路指導高校教員に聞いた「グローバル教育に力を入れている」における順位		

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	N/A(現状程度)			(2024 年度) 1. 2項目 2. 6位		

				(2027年度) 1. 3項目 2. 6位		
実績	1. 0項目 2. 10位	1. 0項目 2. 10位	1. 0項目 2. コロナ禍のため当該項目 の調査は実施されず			

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ポータルサイトの運用・開発	策定段階	開発	安定運用	安定運用	一部改訂	安定運用
	2023年3月末段階	—	—	—	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階					
	2023年3月末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
広告出稿	策定段階	出稿	出稿	出稿	出稿	出稿
	2023年3月末段階	2019.8 発行済み	2020.7 発行済み	2021.7 発行済み	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階					
	2023年3月末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
SDG 大学連携プラットフォーム等への参加	策定段階	—	参加の意思決定	参加(継続)	参加(継続)	参加(継続)
	2023年3月末段階	—	—	—	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	参加(継続)	参加(継続)	参加(継続)	参加(継続)	

	2023年3月末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
SDGs 学生キャンパスサポーターズ(仮)の設立・活動支援	策定段階	—	—	設立準備、イベント等の企画・実施に係る学生支援	イベント等の企画・実施に係る学生支援	イベント等の企画・実施に係る学生支援
	2023年3月末段階	—	—	—	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	イベント等の企画・実施に係る学生支援	イベント等の企画・実施に係る学生支援	イベント等の企画・実施に係る学生支援	イベント等の企画・実施に係る学生支援	
	2023年3月末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学（第1版）」を2019年8月に発行し、好評を得た。 ポータルサイトの開発を行い、SDGsに係る教育研究活動等全般的な情報発信を行うことで、ブランド向上の一端を担った。
2020年度	東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学（第2版）」を2020年7月に発行し、好評を得た。 「SDG 大学プラットフォーム」「関西 SDGsプラットフォーム大学分科会」をはじめとしたプラットフォームに参加し、本学の取組の発信や情報収集を行った。
2021年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学（第3版）」を2021年6月に発行し、好評を得た。 ● 「国連大学 SDG 大学連携プラットフォーム」に参加し、カリキュラム分科会において、国連 SDGs 入門科目を検討・作成した。 ● 「関西 SDGs プラットフォーム大学分科会」に参加し、本学の取組の発信や情報収集を行った。2022年3月には、同分科会後援の「第2回 大学 EXPO フォーラム」に副学長が登壇し本学の取り組みについてプレゼンテーションとディスカッションを行った。 ● 2021年12月に、KG SDGs キャンパスサポーターを立ち上げ、キックオフイベントを行った。また、ホームページ（http://kg-sdgs.com/）を開設し、情報発信を開始した。
2022年度	
2023年度	
2024年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	2019 年度より新たに設定した実施計画であり、今後の課題及び方向性は今年度の取り組みを踏まえて整理する。
2020 年度	引き続き、ポータルサイトの逐次更新を行うとともに、国連大学による「SDG 大学連携プラットフォーム」に登録・参加することで、情報発信するとともにブランド向上をめざす。
2021 年度	<p>「SDG 大学プラットフォーム」「関西 SDGs プラットフォーム大学分科会」をはじめとしたプラットフォームに引き続き加盟し、分科会等の活動を通じて本学との取組の発信や情報収集を行う。また、「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学コアリション」に参画し、ゼロカーボン社会に向けた取り組みを推進する。加えて、SDGs 推進に向けて関心の高い学生を組織化し、学生間が連携できるようプラットフォームを形成することで学生の主体的な取組を支援・促進し、本学の SDGs の活動の推進やブランド向上を目指す。</p> <p>なお、SDGs への積極的な取り組みが求められる昨今の社会状況の中、本学の SDGs の取り組みをいっそう促進し本学のブランド価値向上につながるためには、学内の教員・学生の具体的な取り組みの情報を着実に収集するとともに、プラットフォーム等の活動に参加や適切な広報媒体への出稿等により学内の取り組みを戦略的に発信するとともに、学外の先進的な取り組み事例や知見の収集を行うことが必要となる。また、大阪・関西万博を見据え、これまで以上に地域社会や他大学と連携した取組の形成も求められる。さらに、「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学コアリション」等の新たな取組も推進する必要があることもふまえ、担当の副学長を定め、専任となる学長補佐を配置するとともに、事務局体制も整備し、総合企画部に専任職員・契約職員各 1 名を配置する。(なお、契約職員については 8-(12)-②SDGs の推進(教育分野)で計上している職員を総合企画部に配置する。)</p>
2022 年度	<p>昨年度に引き続き、学外の関連組織（①「国連大学 SDG 大学連携プラットフォーム」、②「関西 SDGs プラットフォーム大学分科会」、③「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」）に参加し、分科会等の活動を通じて本学の取組の発信や情報収集を行う。②については、「万博大学連合イニシアティブ」が新設されたことから、同イニシアティブのイベント等における、本学の SDGs 活動の発信も検討する。</p> <p>昨今、SDGs 推進の機運は社会全体でますます高まっており、本学に対しては、産官民から共同事業に関する打診が漸増している。社会貢献や本学の情報発信に資する事業については積極的に推進し、今後の SDGs 推進の方策などに関する知見を蓄積していく。共同事業の内容については、学生を主体とするもの（ワークショップや勉強会）が多いことから、KG SDGs キャンパスサポーターを参画させる形で、大学の情報発信・ブランド力向上を期するとともに、教職員・学生の SDGs への認識をさらに深化させる。</p> <p>広報面においては、関西学院大学のみならず学院全体の SDGs 活動の発信に向けて、各構成校に関する情報収集を強化し、ポータルサイトにより広範な情報発信を行う。ポータルサイト自体の改修も行い、より広範な情報発信に適した仕様を実装する。</p> <p>大学の公式 HP に掲載される SDGs 関連の記事については、英訳の上、英語版公式 HP にも積極的に掲載し、本学の SDGs への取組を海外に向けても発信する。</p>
2023 年度	
2024 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	SDGs 推進に係る東洋ムック等への掲載費、ウェブサイト改修費、SDG 大学連携プラットフォーム参加費を認めます。 SDGs 学生キャンパスサポーター活動費については、活動内容の詳細が決定した段階で、将来構想推進 WG の了承を得て、予算外申請をしてください。 専任職員 1 名および契約職員 1 名の増員については、配置する方向として、人事部にて対応します。
2022 年度	SDGs の推進に係る広報広告費、ウェブサイト改修費、SDG 大学連携プラットフォーム参加費を認めます。SDGs キャンパスサポーター活動費については、予算申請時にあらためて査定します。 また、専任職員 1 名および契約職員 1 名の継続配置を認めます。
2023 年度	
2024 年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・東洋経済ムック本(SDGs に取り組む大学特集)に本学における各種取組みを掲載した。 ・国連大学 SDG プラットフォーム、関西 SDGs プラットフォームに参画した。 ・学院として SDGs 推進に向けたさらなる具体策の検討が必要である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 推進に向けたさらなる具体策の検討

【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	